

介護ロボットにできること、現場活用のために③ (最終回)

# 「機能」を活かす行動科学 マネジメントの重要性

介護ロボットについて「自動化・効率化が進み人員削減ができる」と期待する声がある一方、「まったく役に立たない。介護は人間がやるもの」と両極の考えが見られる。厚生労働省「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業」を受託するNTTデータ経営研究所・足立圭司シニアマネージャーは「肯定・否定派の中間が正しい。スタンスがもたれない。期待通りの効果を発揮できるかは、機器の機能だけでなく、介護現場で自律的に機能するまでの行動科学マネジメントが伴っているか」と話す。

## 介護ロボットを導入すれば何ができるのか

介護ロボットは、国が重点分野としている「6分野13項目」を中心に製品化がなされ、見守りセンサーや装着型デバイスなどが普及し始めた。そうしたニーズや研究開発発表などに共感し、自ら介護施設に導入したが、思ったように効果を発揮しない。現場職員が使おうとしない。だから「介護ロボットは駄目だ」「人間でないと介護は無理」と、推進派から一転して慎重派(否定派)になる。介護事業者も少なくない。

## 「質の高いケアの再現性」 介護ロボットの真骨頂

介護ロボットだからこそできることは「質の高いケアの再現性」(足立氏)という。介護職のキャリアや技量により介護サービスの質が異なることがあるが、最適な介護ロボットが導入されれば、質の高いサービスを、どの介護職員であっても再現性をもってできるようになる。

科学的介護情報システム「LIFE」が始まったが、再現性の高い介護サービスを提供できるようにするには、科学的介護にも適ったデータ収集の意味でも「介護ロボット十訓」への期待も高まっている。

介護ロボット活用という方向性を経営者と現場職員が共有するには、目に見える効果を積み重ねていくことが必要(足立氏)。



北九州市独自の伴走型支援の様子。全スタッフの業務時間を計測する

# 業務見直しと介護ロボ活用の効果 夜勤帯の「負担」と「人員」削減



富田浜特別養護老人ホーム 山口施設長(左)、高木係長

周辺施設「成功事例」見学から導入まで  
親交の深い介護施設の理事長の紹介で興味を持ったのがきっかけ。その施設は、見守りシステムの導入・活用で業務全般の見直しに成功したという。早



スマホ活用で、必要な時にすぐに情報共有が行える

速く、見学させてもらい「良さそうだな」と実感を覚えて導入を検討し始めた。2021年3月より、見守りシステムを導入して、ICT機器導入に成功した。同施設は80床のユニット型個室で、平均要介護度は3.8。自立支援を希望する居る者もいることから個別対応を実践してきた。

「導入前研修」  
機器導入の意向を本社担当者へ伝え、開始した。当初から介護ロボットやICT導入による解決が前提だったわけではない」と山口施設長。

「無理なく」夜勤職員5人から4人に  
これまで同施設では夜勤職員を増やすには、睡眠時間の確保が欠かせないことから、夜勤帯のケアの向上は相乗効果も期待できる。効果を実感した。

「無理なく」夜勤職員5人から4人に  
これまで同施設では夜勤職員を増やすには、睡眠時間の確保が欠かせないことから、夜勤帯のケアの向上は相乗効果も期待できる。効果を実感した。



HitomeQケアサポは小さく、設置しても室内の風を浴びない。(写真上左)

「無理なく」夜勤職員5人から4人に  
これまで同施設では夜勤職員を増やすには、睡眠時間の確保が欠かせないことから、夜勤帯のケアの向上は相乗効果も期待できる。効果を実感した。



通知時は、映像を確認して駆け付けられる

# 個別歩行訓練をロボットとAIで支援



歩行器型のロボット。押して歩くだけで、トレーニングの結果が自動で計測・記録され、介護事業者・施設など向けに、一人ひとりに合った歩行機能訓練をサポートするサービスを提供している。



歩行器型のロボット。押して歩くだけで、トレーニングの結果が自動で計測・記録され、介護事業者・施設など向けに、一人ひとりに合った歩行機能訓練をサポートするサービスを提供している。

「無理なく」夜勤職員5人から4人に  
これまで同施設では夜勤職員を増やすには、睡眠時間の確保が欠かせないことから、夜勤帯のケアの向上は相乗効果も期待できる。効果を実感した。

自分でも、歩きたい

## Panasonic

個別機能訓練 自主トレーニング 測定 に  
最適な運動負荷と記録活用で  
質の高い歩行トレーニング

施設向け「歩行トレーニングロボット」  
**Walk training robo**

**特徴1**

ログインするだけで、一人ひとりに合わせたハンドル高さや運動負荷を自動設定。簡単に始められます。

**特徴2**

歩くだけで歩行状態を計測、詳細な記録として活用可能。各種書類の申請にも。

**介護老人保険施設様**

回りの人もあれを使いたいという声があって、施設の歩行の総量が増えています。

**デイサービス施設様**

職員側がお声がけしなくても、やりたいという方が多いです。歩いた距離や、負荷も具体的に記録できるようになりました。

導入ご検討の方は、  
無料お試しいただけます。  
下記HPから問い合わせください。

お問い合わせ wtr\_sales@gg.jp.panasonic.com  
アクティブエイジングデザインプロジェクト 大阪府門真市大字門真1006番地

URL: https://tech.panasonic.com/jp/walk\_training/

Giving Shape to Ideas

# HitomeQ

Care Support

月額料金で始める介護施設のICT化  
サブスクリプションプラン

- ・ワークフローを大きく効率化
- ・データ活用によるケア品質向上
- ・スタッフ・高齢者のQOL向上

行動分析センサーが利用者様の行動を解析 / スタッフのスマートフォンに映像と共に通知

**無料** トライアルで  
効果体感

※提供準備中の地域があります。お問い合わせください。

必要数に合わせて  
自由に導入規模  
を選べる

導入/定着まで  
安心サポート

HitomeQ ポータルサイトにて、  
最新 Web セミナー情報や全国補助金情報、介護のトレンドコラムなど情報満載！  
※サブスクリプションプランとは、お客様が必要なメニューを選び一定期間利用できるサービスです。

※オンライン可  
体験型デモ受付中！

ひとめく